

2 調査結果

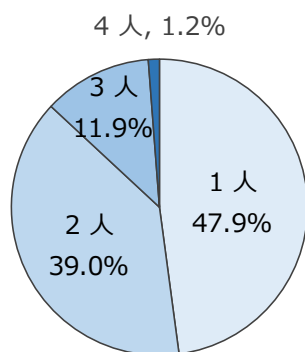
(1) 世帯と住居の状況について

① 子どもの人数（問1）

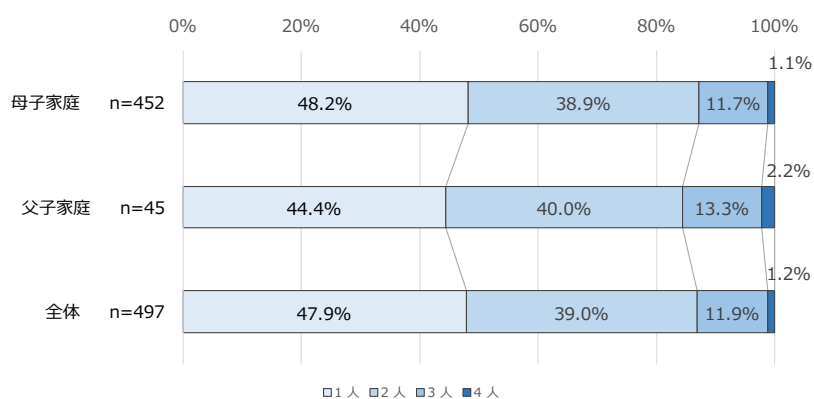
ひとり親の世帯の子どもの人数は「1人」が最も多く、47.9%（230世帯）を占めている。次いで「2人」が39.0%（194世帯）、「3人」が11.9%（59世帯）、「4人」が1.2%（6世帯）となっている。

子どもの人数の平均は1.66人、中央値は2人となっている。

図表 1



図表 2



図表 3

子どもの人数	全体	母子	父子
平均値	1.66	1.66	1.73
中央値	2	2	2
最頻値	1	1	1

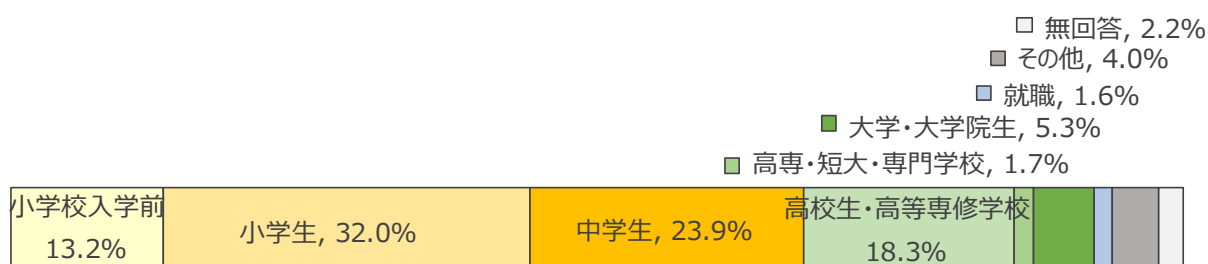
② 子どもの就学・就業状況（問1）

子どもの就学・就業状況については、「小学生」が最も多く 32.0%（259 人）、次に多い「中学生」の 23.9%（193 人）と合わせると、ひとり親家庭の子どもの半数以上は義務教育期間である事が分かる。

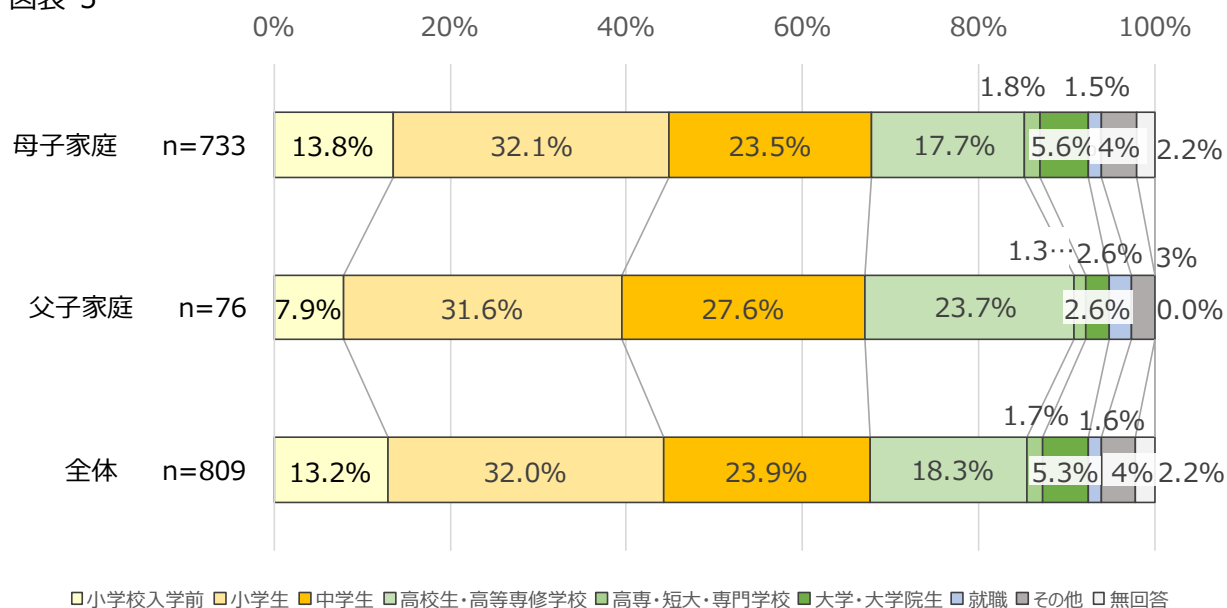
母子・父子家庭別にみると、母子家庭では小学生以下の子供が 45.9%なのに対し、父子家庭では 39.5%となった。

また、ひとり親をもつ子どもの平均年齢は 12.17 歳で、中央値は 13 歳だった。

図表 4 子どもの就学・就業状況



図表 5



図表 6

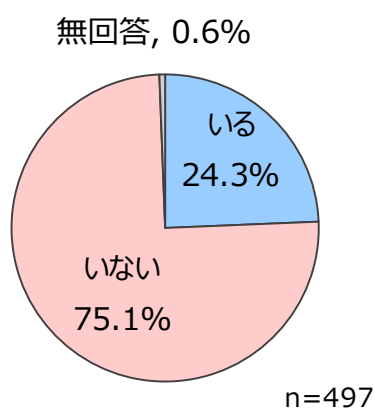
子どもの年齢	
平均値	12.17
中央値	13
最頻値	13

③ 家族や親族との同居（問1-(2)）

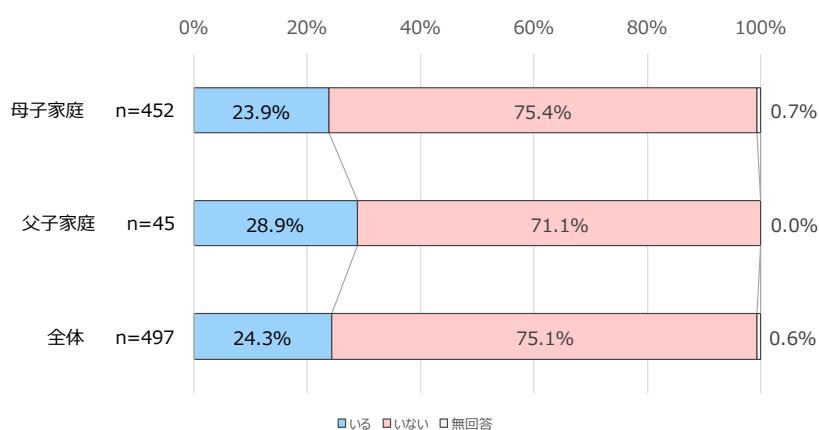
子ども以外の同居人がいるひとり親家庭は、全体の24.3%（121世帯）となっている。同居人の人数は「1人」が最も多く、46.3%（56世帯）。次いで「2人」が40.5%（49世帯）、「3人」が6.6%（8世帯）と続く。同居人数の平均値は1.62人、中央値は2人となっている。

母子・父子家庭別にみると、父子家庭では、同居する家族や親族の人数は「1人」と回答した割合が76.9%と、非常に高い事が分かった。

図表 7



図表 8



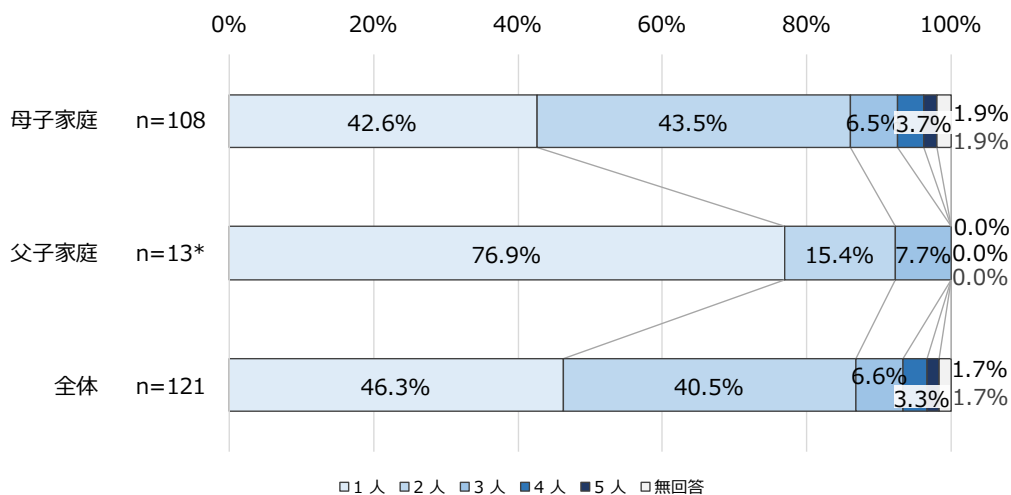
図表 9



図表 10

同居人の数	
平均値	1.62
中央値	2
最頻値	1

図表 11



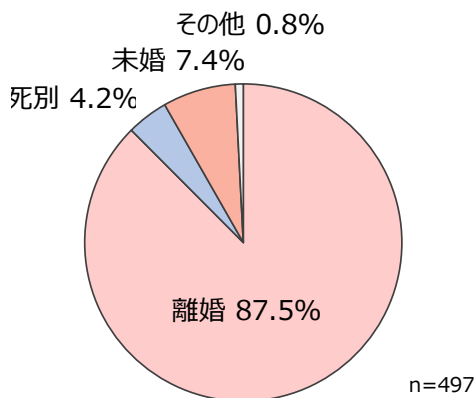
④ ひとり親になった理由（問 2）

ひとり親になった理由は「離婚」が最も多く、87.5%（435 人）。次に「未婚」7.4%（37 人）、「死別」4.2%（21 人）とつづく。その他には「連絡が取れない」状況の家庭も含まれる。

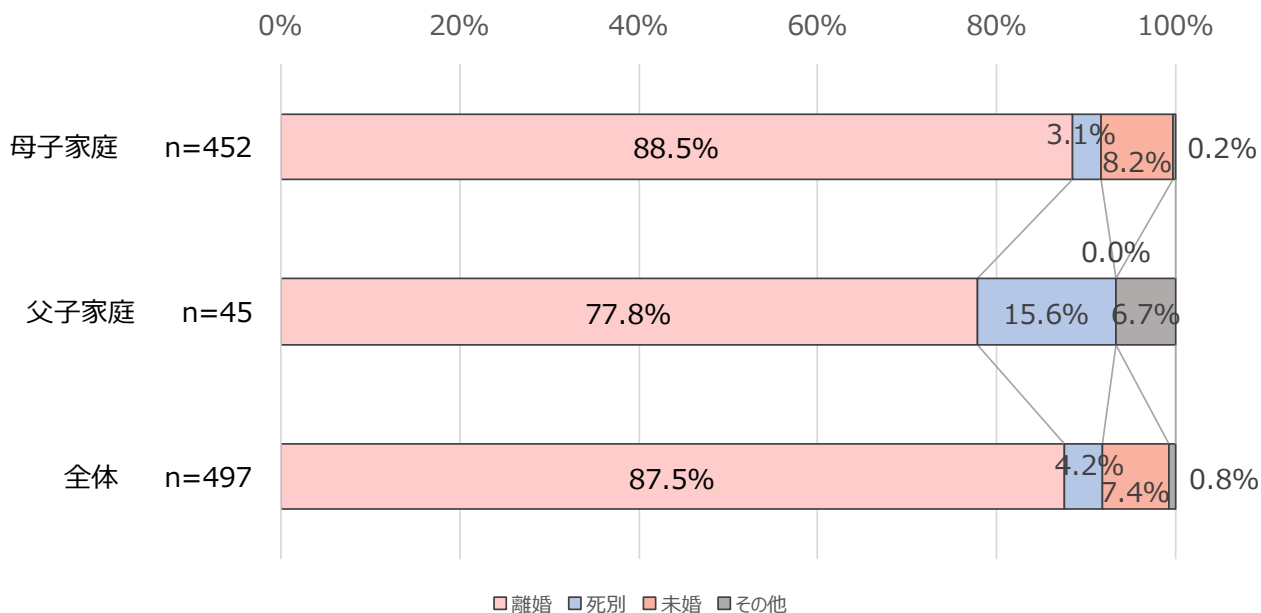
母子・父子家庭別にみると、父子家庭では「死別」の割合は母子家庭に比べて高く、15.6%であった。

また、未婚の割合も母子家庭では 8.2%であったのに対し、父子家庭では 0.0%だった。

図表 12



図表 13

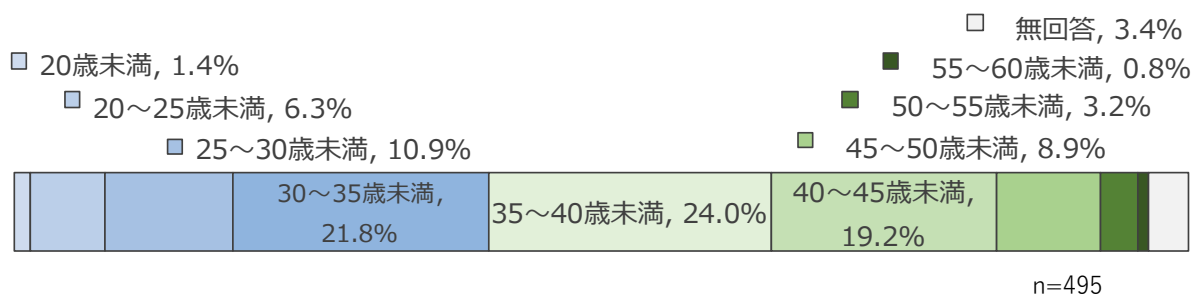


⑤ ひとり親になった時の年齢（問3）

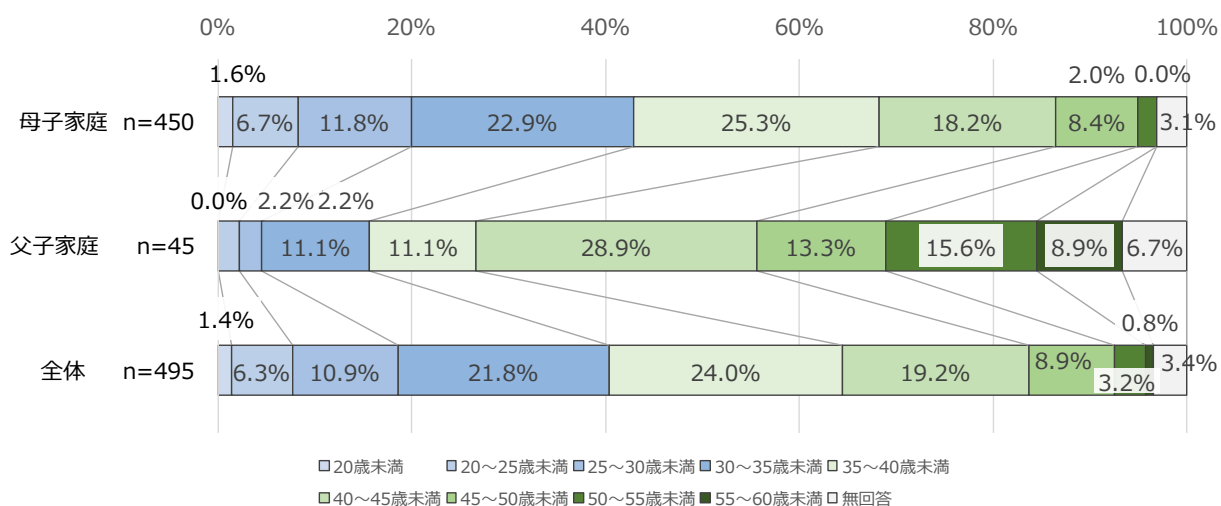
ひとり親になった時の年齢を年代別で見ると、「35歳～40歳未満」が最も多く、24.0%（119人）、次いで「30歳～35歳未満」が21.8%（108人）、「40歳～45歳未満」が19.2%（95人）となっている。

母子・父子家庭別にみると、母子家庭ではひとり親になった時の年齢が「35歳未満」が43.0%なのに対し、父子家庭では15.5%であった。

図表 14



図表 15



ひとり親になった時の年齢は、全体では平均値は 36.1 歳で、最頻値は 30 歳であった。母子・父子家庭別にみると、母子家庭では平均値が 35.4 歳なのに対し、父子家庭では 43.3 歳と、大きな開きがあった。

また、ひとり親の現在の年齢の平均値は 42.4 歳で、母子・父子家庭別にみると、それぞれ 41.8 歳、48.3 歳となり、6.5 歳の差があった。

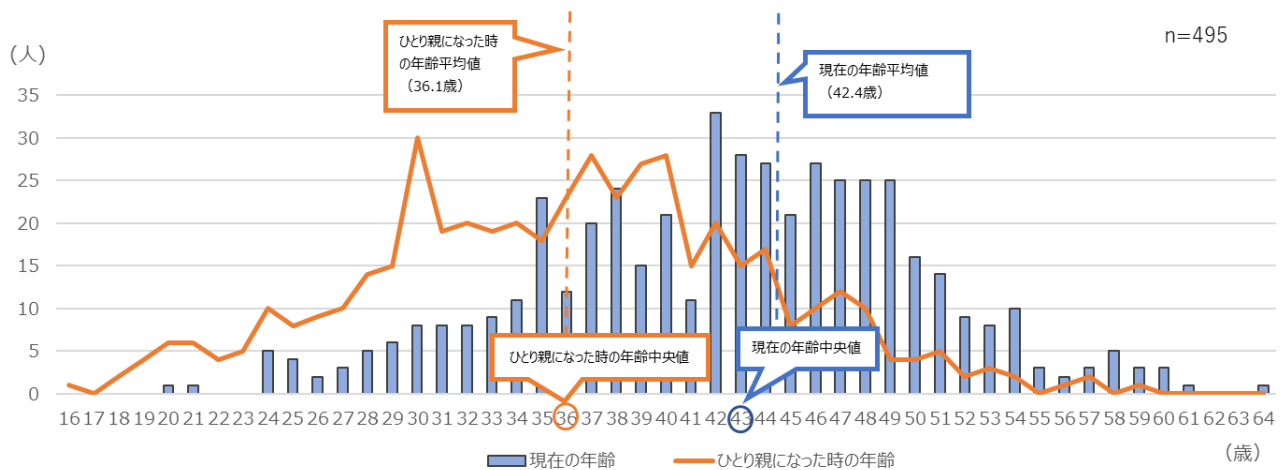
図表 16

ひとり親になった時の年齢	全体	母子家庭	父子家庭
平均値	36.1	35.4	43.3
中央値	36	36	43
最頻値	30	30	43

図表 17

現在の年齢	全体	母子家庭	父子家庭
平均値	42.4	41.8	48.3
中央値	43	42	48
最頻値	42	42	48

図表 18

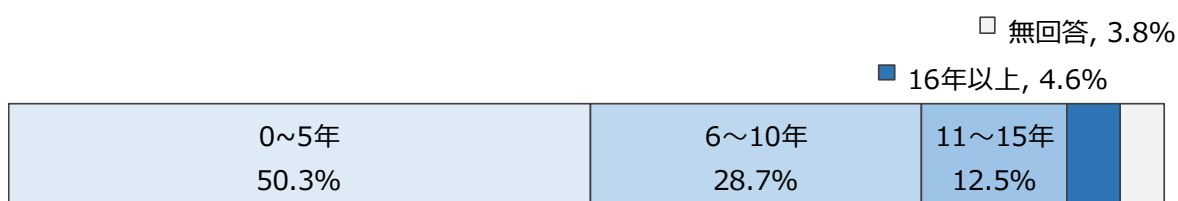


⑥ ひとり親になってからの期間（問 3）

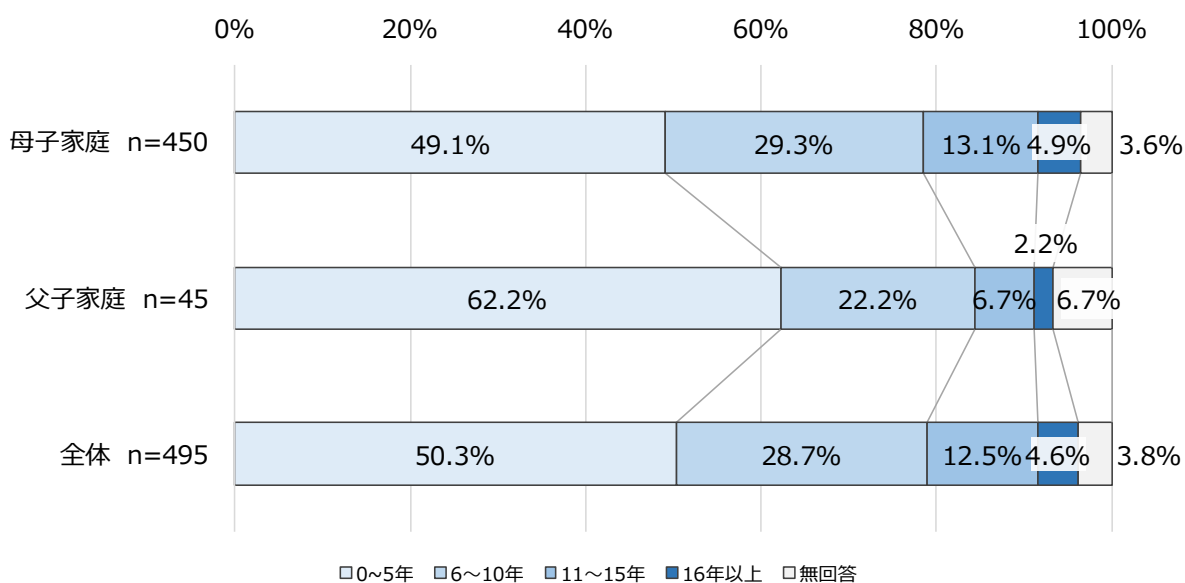
ひとり親になってからの期間は 5 年以下が最も多く、50.3%（249 人）、次いで「6～10 年」が 28.7%（142 人）、「11～15 年」が 12.5%（62 人）となっている。

母子・父子家庭別にみると、5 年未満が父子家庭では 62.2%と、母子家庭の 49.1%と比べて高かった。

図表 19



図表 20



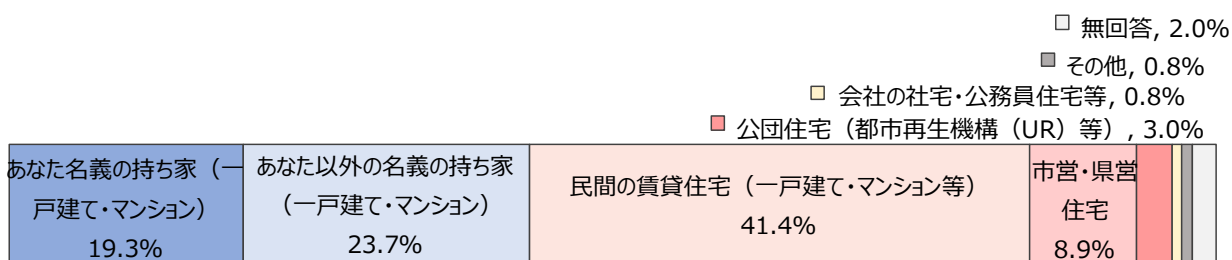
⑦ 現在の住居の状況（問4）

現在の住居については、「民間の賃貸住宅（一戸建て・マンション等）」が41.4%（206人）を占めている。次に、「あなた以外の名義の持ち家（一戸建て・マンション）」が23.7%（118人）、「あなた名義の持ち家（一戸建て・マンション）」19.3%（96人）、「市営・県営住宅」8.9%（44人）と続く。

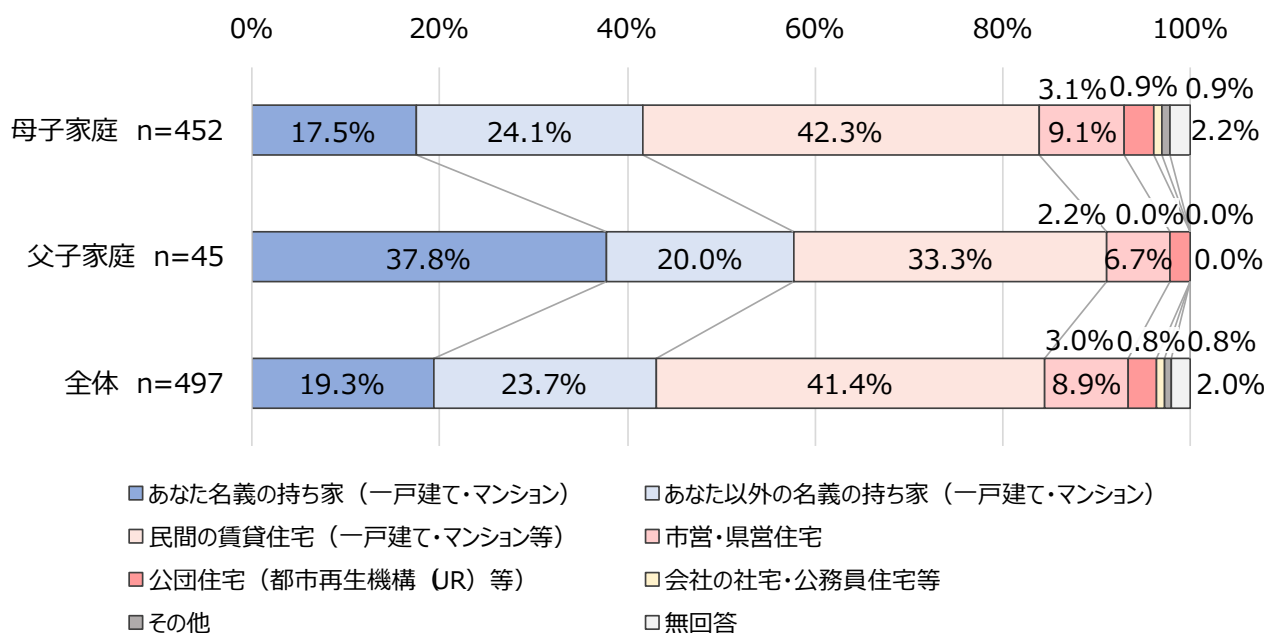
母子・父子家庭別にみると、ひとり親本人の持ち家が、父子家庭では37.8%と最も高かった。

一方で、母子家庭では「民間の賃貸住宅」が42.3%と最も高く、本人の持ち家は17.5%であった。

図表 21



図表 22

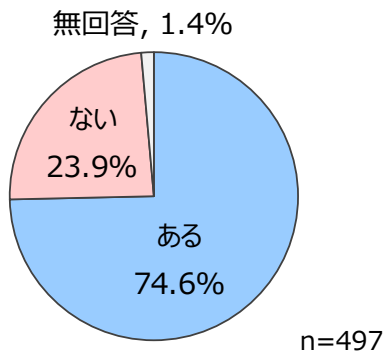


⑧ 負担している住居費（問 4-(2)）

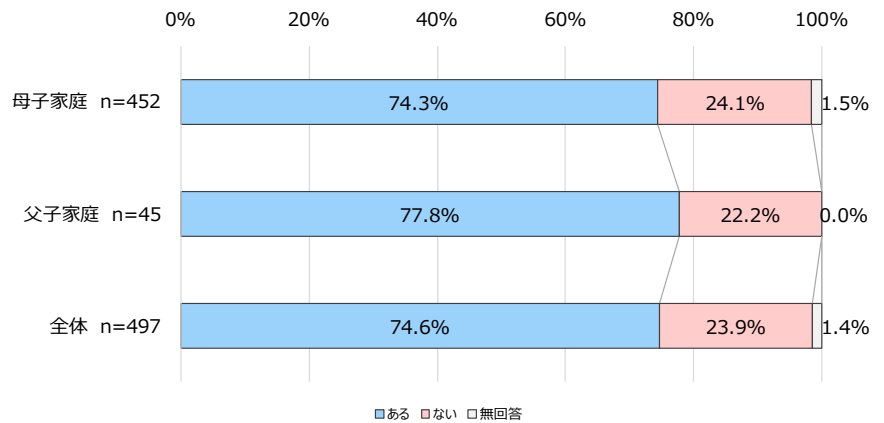
本人が負担している住居費（家賃や住宅ローン等）が「ある」と回答した人は 74.6%（371 人）であった。1 か月の負担額は「5～8 万円未満」が 38.1%（139 人）と最も多く、次に「8～10 万円未満」21.1%（77 人）、「10～15 万円未満」14.8%（54 人）、「3～5 万円未満」11.5%（42 人）と続いた。

母子・父子家庭別にみると、母子家庭では、負担額は「5～8 万円未満」が最も多く 39.6%なのに対し、父子家庭では「8～10 万円未満」が 32.4%で最も高かった。

図表 23



図表 24



図表 25

	n=365 全体	n=331 母子家庭	n=34 父子家庭
1万円未満	1 0.3%	1 0.3%	0 0.0%
1～3万未満	16 4.4%	15 4.5%	1 2.9%
3～5万円未満	42 11.5%	40 12.1%	2 5.9%
5～8万円未満	139 38.1%	131 39.6%	8 23.5%
8～10万円未満	77 21.1%	66 19.9%	11 32.4%
10～15万未満	54 14.8%	46 13.9%	8 23.5%
15～20万円未満	2 0.5%	2 0.6%	0 0.0%
無回答	34 9.3%	30 9.1%	4 11.8%

図表 26

負担している住居費	(円)
平均値	71,561.68
中央値	70,000
最頻値	80,000